

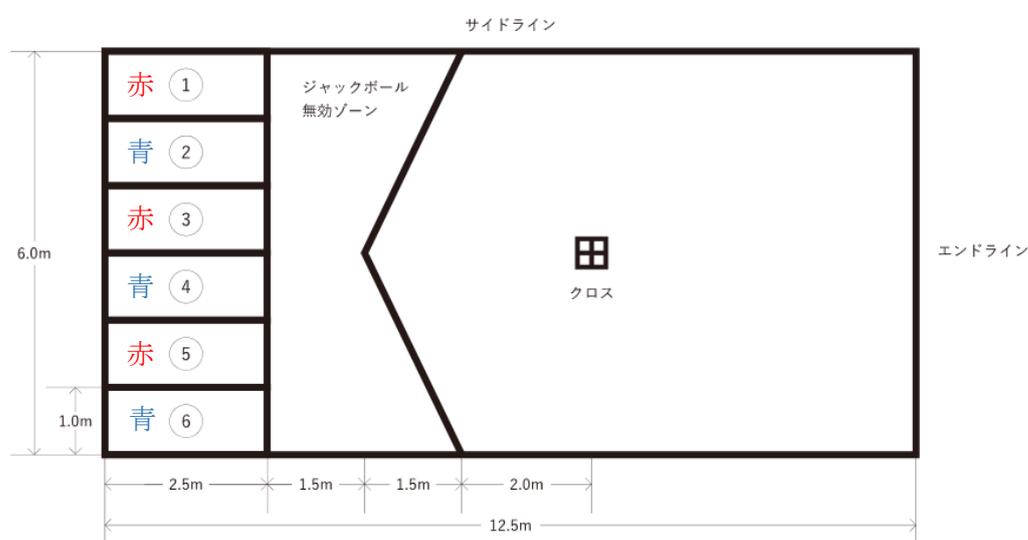
# 岡谷市民ボッチャ大会競技規則

## ★ボッチャとは★

ヨーロッパで考案されたスポーツで、1984年からパラリンピックの正式種目として行われています。近年では、障がいの有無に関わらず、老若男女、誰でも楽しめるスポーツとして注目されています。

## I. 施設及び用具

1. 競技コート：バドミントンコート（12.5m×6m）4面を使用する。
2. ボッチャボール：ジャックボール（白）1つ、赤・青それぞれ6つのボールを使用する。  
用具は大会主催者が準備したものを使用する。（マイボールは使用不可。）



## II. チーム構成及び競技方法

1. 1チーム3～5名で構成し、コートエリア内の競技者は各エンド3名とする。
2. 4コート4チームの予選リーグの後、4コート4チームの順位別決勝リーグを行う。
3. 予選リーグは、勝ち点の多い順に順位を決定する。（勝ち3点、引分け1点、負け0点。）
4. 決勝リーグは、勝ち点の多い順に順位を決定する。（勝ち3点、引分け1点、負け0点。）

**※大会参加チーム数によって競技方法が変更する場合がございます。**

## III. 競技ルール及び進行

1. 赤チーム及び青チームの決定
  - ア. じゃんけんで勝ったチームが、赤チームまたは青チームを選択する。
  - イ. 第1、第3エンドは赤チームが先攻、第2、第4エンドは青チームを先攻とする。
  - ウ. 赤チームは①③⑤番、青チームは②④⑥番のスローイングボックスから投球を行う。

## 2. 投球

### ①第1、第3エンド

- ア. 赤チーム①番の者がジャックボールを投球し、続けて赤ボールの1球目を投球する。
- イ. 青チームが1球目を投球する。投球する者は②④⑥番誰でもかまわない。
- ウ. 2球目以降は、ジャックボールからより遠い位置に投球したチームが投球する。  
なお、投球する者は誰でもかまわない。
- エ. 両チームが6球ずつ投げ終えた時点で審判が得点を計算する。

### ②第2、第4エンド

- ア. 青チーム②番の者がジャックボールを投球し、続けて青ボールの1球目を投球する。
- イ. 赤チームが1球目を投球する。投球する者は①③⑤番誰でもかまわない。
- ウ. 2球目以降は、ジャックボールからより遠い位置に投球したチームが投球する。  
なお、投球する者は誰でもかまわない。
- エ. 両チームが6球ずつ投げ終えた時点で審判が得点を計算する。

※各エンド1投目に投球したジャックボールがコート外に出た場合はジャックボールを投球する権利は相手に移り、相手ボールからスタートする。

## 3. 予選リーグの得点計算、順位の決定

- ア. 各エンド終了後、審判が得点を計算する。
- イ. ジャックボールに最も近いボールを投球したチームには、相手チームの最もジャックボールに近いボールよりも、ジャックボールに近いボール1つにつき1点が与えられる。
- ウ. ジャックボールから等距離に両チーム1つずつ、赤ボール・青ボールがある場合は、両チームに1点が与えられる。
- エ. 4エンド終了後、両チームそれぞれの総得点を計算する。
- オ. 勝ちチームには3点、引分けは1点、負けチームには0点の勝ち点を与える。
- カ. 勝ち点の合計点が多いチームから順位をつける。
- キ. 勝ち点と同じ場合は、「①総得点」「②当該チーム同士の勝敗」「③じゃんけん」の順で順位を決定する。

## 4. 決勝リーグの勝敗

- ア. 4エンド終了後、勝ち点により勝敗を決定する。
- オ. 勝ちチームには3点、引分けは1点、負けチームには0点の勝ち点を与える。
- カ. 勝ち点の合計点が多いチームから順位をつける。
- キ. 勝ち点と同じ場合は、「①総得点」「②当該チーム同士の勝敗」「③じゃんけん」の順で順位を決定する。

## IV. その他

- 1. 本規則に記載のない事項については、審判員の指示に従うこと。